

平成28年度岡山空港利用実績について

平成28年度の岡山空港の利用者数は、香港線や台北線の新規就航により、国際線の利用者が大幅に増加したことから、8年ぶりに140万人を超え、総数で1,439,700人《対前年度比103.7%》となった。

(以下、《 》内は対前年度比。)

1 国内定期路線

利用者数は堅調に推移し、前年度並みの1,224,069人《99.1%》となった。

(1) 東京線

平成27年10月末に、全日空及び日本航空が減便（合計12往復/日→10往復/日）したものの、利用者数は堅調に推移し、前年度並みの1,066,159人《99.5%》となった。

航空会社別では、全日空が650,600人《98.0%》、日本航空が415,559人《101.9%》であり、特に日本航空は平成14年の就航以来最多を記録した。

(2) 札幌線

夏期の利用は好調な反面、冬期の利用が伸び悩んだことから、利用者数は前年度より減少したものの、4年連続で7万人を超え、70,609人《95.9%》となった。

(3) 沖縄線

利用者数は前年度より減少したものの、搭乗率は8割を超え、好調に推移しており、87,301人《97.5%》となった。

2 国際定期路線

香港線及び台北線の新規就航により、利用者が大幅に増加し、211,211人《146.9%》となった。

(1) ソウル線

昨年10月末から毎日運航が復活し、利用者数が持ち直したことから、前年度並みの85,001人《99.7%》となった。

(2) 上海線

中国の旺盛な訪日需要を背景に利用者数が伸びたことから、前年度より増加し、53,909人《105.0%》となった。

(3) 香港線

本格的なインバウンド路線として、昨年3月に就航し、7月に毎日運航から週2便に減便となったが、その後は高い搭乗率で推移し、利用者数は40,349人となった。

(4) 台北線

台北線では中四国初のLCCによるインバウンド路線として、昨年7月に就航して以来、利用者数は好調に推移し、搭乗率80.0%、利用者数31,952人となった。

3 チャーター便

国内外に48便が運航され、利用者数は4,420人《47.4%》であった。

国際チャーター便は、グアム、韓国などへ13便が運航され、利用者数は2,083人となった。

国内チャーター便は、北海道、久米島・宮古島などへ35便が運航され、利用者数は2,337人となった。

平成28年度岡山空港利用実績集計表

1 国内定期路線

(単位:人, %)

路線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
東京線	1,066,159	▲ 5,893	99.5	71.5
札幌線	70,609	▲ 2,984	95.9	69.1
沖縄線	87,301	▲ 2,253	97.5	82.9
計	1,224,069	▲ 11,130	99.1	72.0

2 国際定期路線

路線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
ソウル線	85,001	▲ 290	99.7	70.7
上海線	53,909	+2,580	105.0	64.0
香港線	40,349	+39,543	5,006.1	65.7
台北線	31,952	+25,591	502.3	80.0
計	211,211	+67,424	146.9	69.1

※ソウル線は、H28. 7. 31～減便（6往復/週→5往復/週）

H28. 10. 30～増便（5往復/週→7往復/週）

※香港線は、H28. 7. 16～減便（7往復/週→2往復/週）

※台北線は、H28. 7. 14～運航開始（3往復/週）

3 チャーター便

路線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
チャーター便	4,420	▲ 4,907	47.4	86.7

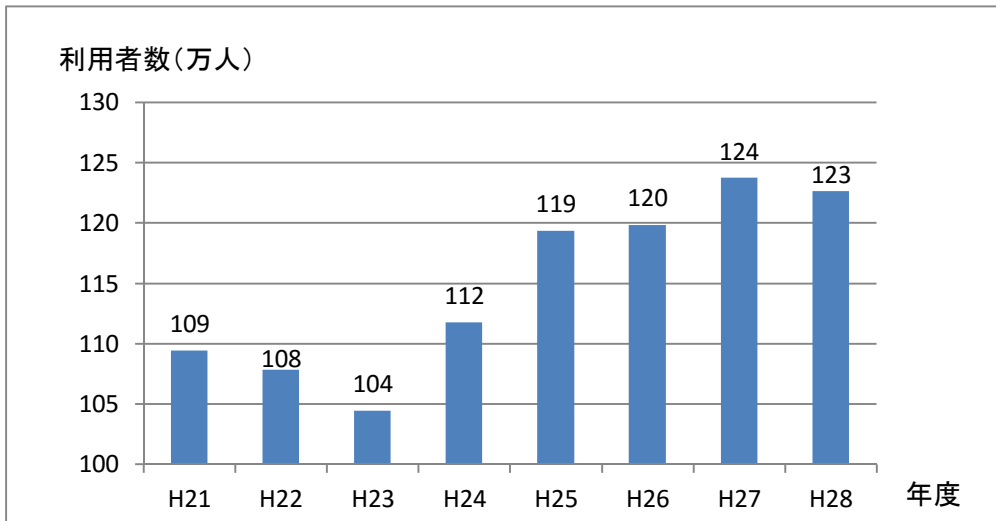
※便数は、国際チャーターが13便、国内チャーターが35便

4 総計

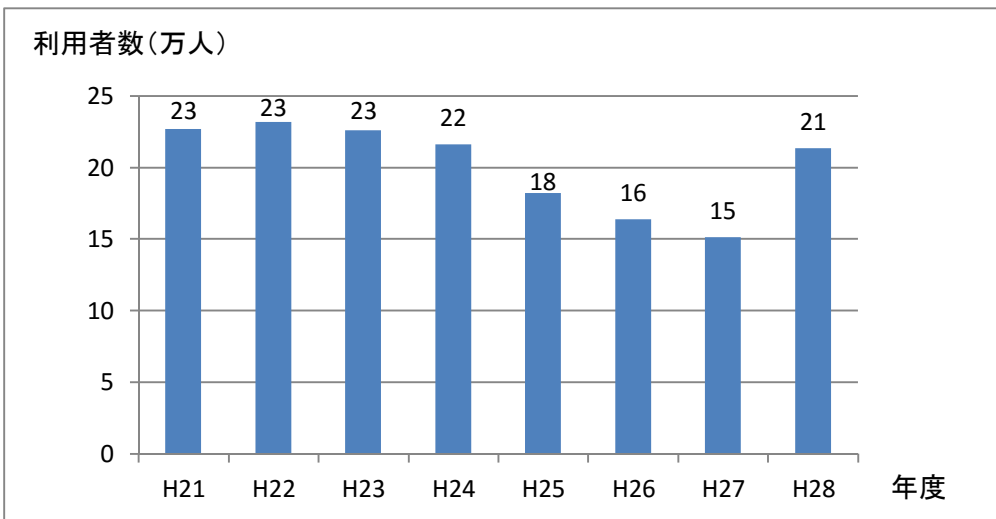
	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
総計	1,439,700	+51,387	103.7	71.6

岡山空港利用者数の推移

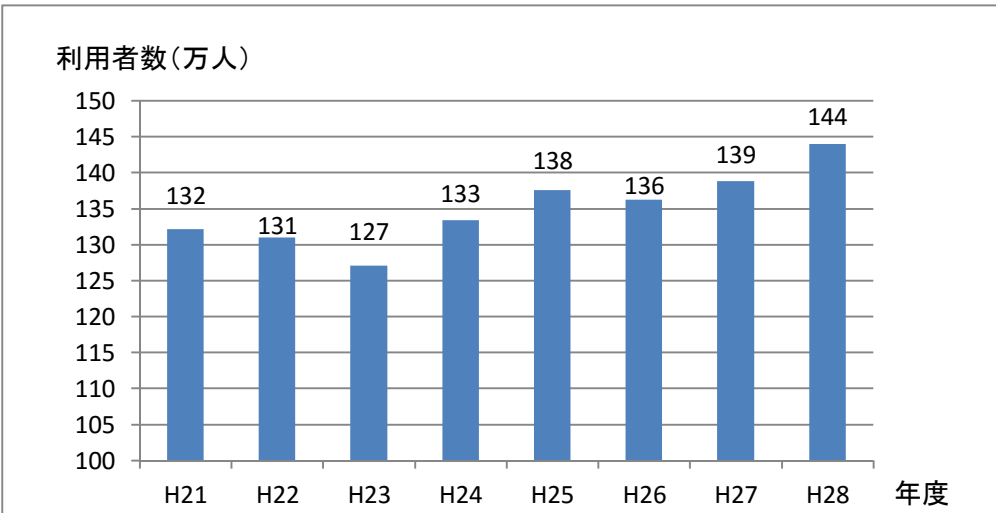
1 国内線



2 国際線



3 国内線+国際線



※利用者数には、チャーター便を含む。